

令和5年度9月補正予算の主な事業

参 考 資 料

徳 島 県

目 次

頁

【安心度UP】重要課題解決の推進と新たに顕在化した課題への対応

■持続可能な物流・公共交通の実現

- (1) 「持続可能な物流」の実現に向けた取組の促進 【県土整備部】 1
 ⑧ トラック運送事業者「持続可能な物流」促進事業
- (2) 燃料消費抑制による「持続可能な公共交通」の実現に向けた取組を支援 【県土整備部】 2
 ⑧ 公共交通エコチャレンジ応援事業

■教育環境の充実と特色ある学校づくり

- (3) 「こどもまんなか」を目指した県立学校施設の機能強化 【教育委員会】 3
 県立学校施設防災機能強化事業
- (4) 生徒まんなか徳島版探究活動の深化 【教育委員会】 4
 ⑧ うちの学校ええんじょ♡プロジェクト
- (5) 徳島と世界をつなぐグローバル人財の育成 【教育委員会】 5
 ⑧ Global×Challengeプロジェクト

■医療提供体制の充実・強化

- (6) 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の「同時流行対策」 【保健福祉部】 6
 ⑧ 高齢者インフルエンザ定期接種促進事業
 新型コロナウイルスワクチン接種普及・相談体制強化事業
- (7) 県立中央病院本館棟の機能強化 【病院局】 7
 県立中央病院本館棟機能強化事業

■誰もが安心して暮らせる社会づくり

- (8) 自転車ヘルメットの着用率向上へ！購入支援制度の創設 【危機管理環境部】 8
 ⑧ 自転車ヘルメット着用促進事業
- (9) こどもの権利擁護の推進 【未来創生文化部】 9
 ⑧ こどもの権利擁護体制強化モデル事業
- (10) 持続可能性の高い「生活困窮者への支援体制」の構築 【保健福祉部】 10
 ⑧ 「生活支援ネットワーク」構築支援事業
- (11) ひとり親家庭への支援強化 【未来創生文化部】 11
 ⑧ ひとり親家庭子育て応援サポート事業
- (12) 一人ひとりに寄り添った結婚支援の強化 【未来創生文化部】 12
 ⑧ ベストマッチ！縁結び応援事業

■防災・減災対策の推進

- (13) 南海トラフ巨大地震被害想定見直しによる防災対策の推進 【危機管理環境部】 13
 南海トラフ巨大地震被害想定算定事業

【魅力度UP】観光復活への加速と本県産業の強化策の展開

■徳島観光復活への加速

- (14) 徳島観光復活加速化プロジェクト
- ＜観光による消費額拡大で「稼げる徳島」を実現＞ 【商工労働観光部】 14
 ⑧ 徳島“新”観光キャンペーン「徳島旅行クーポン」事業
 ⑧ 徳島“新”観光ブランディング事業
- ＜インバウンド誘客拡大に向けたプロモーション強化＞ 【商工労働観光部】 15
 ⑧ 徳島海外発信戦略事業
 歓迎徳島！外国人誘客促進事業
- ＜観光立県の推進＞ 【県土整備部】 16
 ⑧ スーパーヨット誘致推進事業
- ＜東アジア・東南アジアからの国際線のさらなる誘致推進＞ 【県土整備部】 17
 ⑧ 国際航空路線誘致推進事業

- | | | | |
|------|---|-----------|----|
| (15) | 宿泊キャパシティの拡大に向けた戦略策定
⑧ 宿泊施設誘致調査事業 | 【商工労働観光部】 | 18 |
| (16) | 外務省との連携による国際交流の推進
⑧ みんな行きたいケン！！外務省連携とくしま魅力海外発信事業 | 【未来創生文化部】 | 19 |

■本県産業の成長と発展

- | | | | |
|------|--|-----------|----|
| (17) | 賃上げに繋がる経営改善への支援
⑧ 徳島県賃上げ応援金プラス | 【商工労働観光部】 | 20 |
| (18) | 生産性向上による事業継続力の強化
企業変革力強化投資促進事業 | 【商工労働観光部】 | 21 |
| (19) | 効果的な企業誘致活動による立地競争力の強化
⑧ 企業誘致促進発信強化事業 | 【商工労働観光部】 | 22 |
| (20) | 農林漁業者の創意工夫による取組への支援
農山漁村未来創造事業 | 【農林水産部】 | 23 |
| (21) | 畜産業の経営強化に向けた支援
畜産経営強化G×推進事業 | 【農林水産部】 | 24 |
| (22) | 砂地畑農業の振興
⑧ 手入れ砂活用社会実験事業 | 【農林水産部】 | 25 |
| (23) | 林業における担い手育成と労働安全対策の加速
⑧ 林業人材DXセンター推進事業 | 【農林水産部】 | 26 |
| (24) | 首都圏等における県産食材の認知度向上・販路拡大
⑧ 徳島魅力発信・販路拡大事業 | 【農林水産部】 | 27 |
| (25) | 「阿波地美栄」消費拡大プロジェクトの推進
「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業 | 【農林水産部】 | 28 |

【魅力度UP】新たな人の流れの創出と定着を図る徳島ならではの取組の展開

■新たな人の流れの創出と定着の推進

- | | | | |
|------|---|-----------|----|
| (26) | とくしまワーク体感による県内就職の促進
⑧ とくしまワーク体感事業 | 【商工労働観光部】 | 29 |
| (27) | 専門学校が県内企業等と連携して行う実践的な職業教育への支援
⑧ 徳島を支える若者の県内定着促進事業 | 【経営戦略部】 | 30 |
| (28) | 新たな働き方を地域の力に！「関係人口」の創出・拡大
⑧ アワーケーション魅力創生事業
⑧ 複業人材活用拡充プロジェクト事業 | 【政策創造部】 | 31 |
| (29) | 徳島・にし阿波「地元回帰・移住交流」の促進
⑧ 徳島・にし阿波の魅力発信「地元回帰・移住促進」事業 | 【西部総合県民局】 | 32 |
| (30) | 「とくしまマラソン」開催支援
とくしまマラソン支援事業
次代につなぐ！「とくしまマラソン」魅力アップ事業 | 【商工労働観光部】 | 33 |
| (31) | サテライトオフィスの誘致・定着支援の強化
⑧ 「勝ち抜く地域を創出！」サテライトオフィスプロジェクト事業 | 【政策創造部】 | 34 |

【透明度UP】情報発信、県政運営体制の強化

■情報発信力の強化

- | | | | |
|------|-------------------------------------|-----------|----|
| (32) | 県広報SNSの発信力強化
⑧ 県広報SNS発信力強化事業 | 【経営戦略部】 | 35 |
| (33) | 県民目線に立った防災情報発信の充実強化
⑧ 災害情報発信強化事業 | 【危機管理環境部】 | 36 |

■行政のDX化

- | | | | |
|------|--|---------|----|
| (34) | 県民一人一人に、しっかり寄り添う福祉行政の推進
⑧ 生活保護業務DX化推進事業 | 【保健福祉部】 | 37 |
|------|--|---------|----|

「持続可能な物流」の実現に向けた取組の促進

【令和5年度9月補正予算額 277,000千円】

1. 目的

「持続可能な物流」の実現を図るため、燃油価格・物価高騰による厳しい経営状況の中、「GXの推進」や「物流の適正化」に取り組むトラック運送事業者を支援する。

2. 事業内容

① トラック運送事業者「持続可能な物流」促進事業

277,000千円

【対象者】

- ・ 県内に本社又は支店・営業所等を有する中小企業者であって、「貨物自動車運送事業」を継続的に営む者
- ※貨物自動車運送事業：一般・特定貨物、貨物軽自動車運送事業

【要件】

- ・ 燃費向上・環境配慮につながる「GXの推進」（エコドライブの実施など）や、「物流の適正化」（運送業務の効率化、標準的な運賃の導入検討など）に取り組むこと

【支援額】

- ・ 普通自動車 4万2千円／台
- ・ 小型自動車 2万1千円／台
- ・ 軽自動車 9千円／台
- ※道路運送車両法の区分
霊柩車、被けん引車等の支援対象外車両あり

燃料消費抑制による「持続可能な公共交通」の実現に向けた取組を支援

【令和5年度9月補正予算額 36,000千円】

1. 目的

長引く燃料価格高騰等により厳しい経営状況にある公共交通事業者の経営の安定化を図り、「持続可能な公共交通」を実現するため、「燃料消費の抑制につながるエコな取組」を実践する公共交通事業者を支援する。

2. 事業内容

①公共交通エコチャレンジ応援事業

36,000千円

エコドライブや燃費性能が高い車両の導入など、燃料消費の抑制につながるエコな取組を実践する公共交通事業者を支援する。

【対象者】

鉄道事業者、乗合バス事業者、フェリー事業者

【支援額】

定額

担当:次世代交通課

「こどもまんなか」を目指した県立学校施設の機能強化

【令和5年度9月補正予算額 236,000千円】

1. 目的

学びの場としての教育環境の充実はもとより、災害時の安心・快適な避難所としても活用できるよう県立学校施設の機能強化に集中的に取り組む。

2. 事業内容

県立学校施設防災機能強化事業

236,000千円

○県立学校トイレの環境改善

平時は子どもたちが、災害時には避難者が利用する学校施設において、いつでも誰もが使いやすいトイレ環境を整備するため、洋式化率100%に向けたリニューアル工事に集中的に取り組む。

○県立学校体育館の環境整備

平時はスポーツ活動の場として、災害時には避難所ともなる体育館を対象に、安心・快適な空間を確保するため、空調設備の設置や照明のLED化を図る。

担当:施設整備課

生徒まんなか徳島版探究活動の深化

【令和5年度9月補正予算額 7,380千円】

1. 目的

これまで県内高等学校等において、徳島の魅力を活かしつつ行われてきた、生徒自らが課題を設定し、解決策を探る「生徒まんなか」の探究活動をより深化させるため、県内外の産官学等の幅広い協力者とのつながりを構築するとともに、学校や県の魅力を県内外や国外に発信する。

2. 事業内容

①うちの学校ええんじょ♡プロジェクト

7,380千円

県内高等学校等における徳島版探究活動の深化を目指し、県内はもとより、県外国外の産官学等の主体から助言・支援を引き出すため、次の内容に取り組む。

これまでの探究活動の例：阿波藍学習、服活、放置竹林活用 of 取組

- (1) 全国的なイベント等への参加による産官学等との「生徒まんなか」ネットワークの構築
高校生等が全国的なイベント等で、徳島版探究活動の成果を発表しつつ、イベント等に
参加している産官学等の幅広い主体や県外国外の高校等と交流することにより、
自校や県内高校等と連携が可能な協力者とのつながりを構築するとともに、県外高校等の好事例を学ぶ。
- (2) 徳島版探究活動の成果の集約
高校生等が全国的なイベント等で徳島版探究活動の成果を発表できるよう、これまでの取組を
集約したガイドマップを作成する。

担当:学校教育課

徳島と世界をつなぐグローバル人材の育成

【令和5年度9月補正予算額 3,000千円】

1. 目的

ポストコロナ時代を迎え、徳島と世界をつなぐグローバル人材の育成を一層積極的に進めるため、本県の児童生徒が、徳島の魅力を題材に外国の人々と英語で交流する機会を創出し、ふるさとの魅力の再発見や、英語力・コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。

2. 事業内容

① Global × Challengeプロジェクト

3,000千円

○Hello to the World (小学3～6年生対象)

- (1) 対象：小学校4校
- (2) 形態：県内在住の留学生10名程度が小学校を訪問し対面で実施
- (3) 内容：
 - ・小学生数名と留学生のグループを構成し、英語でやり取り
(テーマ) 小学生：学校や徳島・日本の魅力について
留学生：自国の自然や文化、学校生活などについて
 - ・プログラム後に感想送付等で留学生と交流

○Go Forward! Global Mindset 育成事業 (高校生対象)

- (1) 対象：高校生30名
- (2) 形態：1会場に参集した高校生と外国をオンラインでつないで実施
- (3) 内容：同世代の外国人との交流を通して、
「グローバルな視点」「実践的に英語を使う機会」「留学の基礎知識」を提供
(例) 徳島を世界に！～英語プレゼンテーション大会～
世界の現状を知る海外オンライン現地ツアー
海外大学教員による授業を通したオンライン留学体験

担当:学校教育課

季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の「同時流行対策」

【令和5年度9月補正予算額 151,000千円】

1. 目的

新型コロナの5類移行後「初」となる季節性インフルエンザとの同時流行に備えるため、ワクチン接種に係る費用助成や、広報・相談体制の強化により、ワクチン接種の促進と重症化予防を図る。

2. 事業内容

(1) ① 高齢者インフルエンザ定期接種促進事業

141,000千円

重症化リスクの高い高齢者等を対象に、インフルエンザワクチン定期予防接種の自己負担分（1,600円）の半額を支援する。

【対象者】

65歳以上の高齢者及び60～64歳で基礎疾患のある方（予防接種法に基づく定期接種対象者）

【補助率】

定額800円

(2) 新型コロナワクチン接種普及・相談体制強化事業

10,000千円

「令和5年秋開始接種」の開始を踏まえ、ワクチン接種のメリットとデメリットを正しく広報するとともに、副反応に係る相談体制の強化を行う。

【取組内容】

- 新聞広告等を活用した県民に分かりやすい周知・広報
- 副反応に対応する専門相談コールセンターのオペレーターや看護師等の増員

県立中央病院本館棟の機能強化

【令和5年度9月補正予算額 205,000千円】

【令和5～8年度継続費設定額 1,750,000千円】

1. 目的

本年5月に運用を開始した「ER棟（南館）」との相乗効果を発揮するため、移設後の「本館棟」のスペースを活用して、「救命救急」及び「がん治療」の更なる機能強化を図る。

2. 事業内容

県立中央病院本館棟機能強化事業

205,000千円

(1) 2次・3次救急機能の強化

重篤患者の早期処置を行う「簡易手術室」を新設する等、救命救急センターの機能強化を図る。

(2) がん診療拠点としての機能強化

抗がん剤治療の充実・強化を図るため、治療スペースを拡張し、ベッド数を増床するなど、「外来化学療法室」を拡充する。

(ベッド数 現在：13床 → 改修後：20床)

(3) 重症患者の救命率向上

救命率の向上を図るため、重篤な患者を処置する「ICU」の1床当たりの面積を拡充する。

(1床面積 現在：13㎡ → 改修後：25㎡)

自転車ヘルメットの着用率向上へ！購入支援制度の創設

【令和5年度9月補正予算額 17,250千円】

1. 目的

道路交通法の改正により、自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことに伴い、本県における着用率向上を図り、県民の安全安心を確保するため、市町村と連携して、新たに「高齢者」及び「高校生世代」に対する自転車ヘルメットの購入支援を行う。

2. 事業内容

⑧自転車ヘルメット着用促進事業

17,250千円

自転車ヘルメット着用の促進を図るため、市町村が実施する、「高齢者」及び「高校生世代」に対する自転車ヘルメット購入補助経費の一部について補助を行う。

【対象者】

- ・ 65歳以上の高齢者
- ・ 高校生世代（16歳～18歳）

【補助額】

- ・ 市町村から対象者に購入額の1/2（上限3,000円/個）を補助する。
※市町村の補助経費に対し、その1/2（上限1,500円/個）を県が補助する。

【対象期間】

- ・ 「着用強化期間」を対象期間に設定 令和5年8月4日から令和6年3月末

こどもの権利擁護の推進

【令和5年度9月補正予算額 2,000千円】

1. 目的

社会的養護が必要なこどもの最善の利益実現のため、一時保護所等において、こどもの意見・意向を勘案した支援に取り組み、こどもの意見表明や権利擁護に必要な環境を整備する。

2. 事業内容

① こどもの権利擁護体制強化モデル事業

2,000千円

(1) こどもの意見表明・対応モデルの構築

こどもの意見表明支援員（有識者）を派遣し、養育環境に対するこどもの意見表明の機会を確保するとともに、表明された意見を勘案した対応や結果等をこどもにフィードバックを行うことで、こどもの意見を尊重した支援モデルケースを構築する。

【対象】

一時保護所及び児童自立支援施設等の入所児童

(2) こどもの意見表明検討会の設置

こどもにとって、透明性の確保と実効性ある仕組みづくりの観点から、支援員をはじめとする関係者により、支援モデルケースの評価や課題解決に向けたブラッシュアップを行う。

担当:こども家庭支援課

持続可能性の高い「生活困窮者への支援体制」の構築

【令和5年度9月補正予算額 170,000千円】

1. 目的

長期化する物価高騰等の影響を踏まえ、持続可能性の高い「生活困窮者への支援体制」を構築するため、新たに、物資やサービスの提供を通じて、支援活動団体をサポートする事業者の参画を促し、民間主体による「支援の輪づくり（ネットワーク化）」を推進する。

2. 事業内容

① 「生活支援ネットワーク」構築支援事業

170,000千円

- (1) 食料支援を通じた「支援活動団体との関係づくり」
地域の「支援活動団体」を下支えするため、食料等支援物資を提供するとともに、支援物資の提供を通じた「県下一円の支援活動団体との関係づくり」を推進する。
- (2) 支援活動団体とサポート事業者の「マッチング支援」
県が調整役となり、物資の提供・運搬などに協力する「サポート事業者」を広く募集するとともに、支援活動団体とサポート事業者の「マッチング」に向けた支援交流会議を開催する。

また、新たにサポート活動に参画いただける事業者に対して、必要となる設備や備品等の導入に必要な経費を補助することで、「サポート事業者」の参画を加速させる。

【補助率（上限額）】 10/10（1事業者あたり上限100万円）

- (3) 支援活動団体及びサポート事業者の「見える化」
「WEBサイト」を新たに構築し、行政や団体、事業者等のSNSを通じて、活動内容の積極的な情報発信を展開する。

ひとり親家庭への支援強化

【令和5年度9月補正予算額 50,000千円】

1. 目的

経済情勢の影響を受けやすい「ひとり親家庭」を支援するため、日用品等の提供による、緊急的な生活支援を行うとともに、関係機関と連携し、効果的な自立支援策の構築・強化を推進する。

2. 事業内容

①ひとり親家庭子育て応援サポート事業

50,000千円

- (1) ひとり親家庭への緊急的な生活支援
「ひとり親家庭」に対し、日用品等セットを無償配布する。

【対象者】

児童扶養手当受給者及び休業・失業等により収入が減少したひとり親家庭
約6,000世帯

【内容】

洗剤やティッシュペーパー、食品用ラップフィルムなどを詰め合わせた日用品等セットを「とくしま夢みらい応援便」として、無償配布する。

- (2) ひとり親家庭への自立支援策の構築
関係機関からなるタスクフォースを設置するとともに、ひとり親家庭に対するアンケートを実施し、支援者と当事者、双方の意見を活かした施策の構築に向けた取組みを推進する。

担当:こども家庭支援課

一人ひとりに寄り添った結婚支援の強化

【令和5年度9月補正予算額 4,000千円】

1. 目的

未婚化、晩婚化などにより少子化が進行する中、結婚したい人の希望を叶えるため、「とくしまマリッジサポートセンター（マリッサとくしま）」を拠点として行っている結婚支援の強化を図る。

2. 事業内容

⑨ ベストマッチ！縁結び応援事業

4,000千円

- (1) DXを活用した性格診断マッチング機能の導入
既存の結婚支援システムによる職業や年収等の条件によるお相手探しに加え、「性格診断を活用したマッチング機能」を新たに導入し、内面的要素を取り入れることで、お相手探しの選択肢を広げ、マッチング率の向上につなげる。
- (2) おすすめ相手のプッシュ型配信
性格診断の結果に基づくお知らせ機能を追加することで、新たな切り口から利用者へアプローチし、お引き合わせ数の増加を図る。

担当:こどもまんなか政策課

南海トラフ巨大地震被害想定見直しによる防災対策の推進

【令和5年度9月補正予算額 105,000千円】

1. 目的

10年ぶりとなる国の想定見直しに、いち早く対応し、これまでの防災対策の再検証を行い、市町村や地域住民と連携し、県民目線に立った必要な防災対策をハード・ソフト両面から推進するため、「徳島県南海トラフ巨大地震被害想定」の見直しを実施する。

2. 事業内容

南海トラフ巨大地震被害想定算定事業

105,000千円

国の被害想定における「地形データの更新」、「算定手法の見直し」等を速やかに反映し、本県独自のより一層精緻な「津波浸水想定」及び「被害想定」の算定を適確に実施する。

【精緻化を図る主な内容】

- ・ 本県の実情を踏まえた、より一層詳細な地形、構造物データの収集・整理
（地形データの更新に伴う構造物の詳細データ分析（100箇所→800箇所））
- ・ 詳細データを活用した地理情報（GIS）の作成
- ・ 国の算定手法見直し（堤防の耐震化反映等）を踏まえた
「津波浸水シミュレーション」の精度向上

観光による消費額拡大で「稼げる徳島」を実現

【令和5年度9月補正予算額 1,039,900千円】

1. 目的

秋以降の本県への旅行需要を喚起し、観光による経済波及効果を高めるため、県内の宿泊旅行者に対し、さらなる消費を促す「電子クーポン」を付与する。
また、「観光ブランド」の構築に向けて、観光誘客や県産品の販売増のための調査分析を行う。

2. 事業内容

(1) 新 徳島 “新” 観光キャンペーン「徳島旅行クーポン」事業 1,000,000千円

○旅行者に対し、県内の各店舗で利用できる電子クーポンを付与する旅行キャンペーンを実施
キャンペーン実施にあわせ、効果検証を実施し、観光消費額の拡大に繋げる。

【クーポン付与額】

1人泊あたり5千円 ※クーポン付与総額9億円（18万人泊分）

【実施期間】

令和5年11月～ ※予算がなくなり次第終了

(2) 新 徳島 “新” 観光ブランディング事業 39,900千円

○魅力的な徳島の「観光ブランド」の構築に向けて、旅行トレンドを踏まえた
観光コンテンツの「実態調査」と、ブラッシュアップ方策等についての「調査研究」を行う。

○本県の魅力を広く、的確に伝えるため、最新の「観光情報素材」の制作や、
良質な県産品の「情報発信とセールス」を実施

担当:観光政策課

インバウンド誘客拡大に向けたプロモーション強化

【令和5年度9月補正予算額 78,500千円】

1. 目的

インバウンド誘客拡大に繋げるため、SNSを活用した情報発信や旅行博への出展など、ターゲット国・地域のニーズに応じた効果的なプロモーションを実施する。

2. 事業内容

(1) 新 徳島海外発信戦略事業

45,000千円

東アジアや東南アジアをターゲットに、国際線の就航を見据えた戦略的なPR活動や旅行会社等へのセールスを実施する。

○インフルエンサーを活用した情報発信強化

ターゲット市場のインフルエンサーを招聘し、SNSによる効果的な情報発信を展開する。

○現地プロモーション

旅行博等にブース出展し、現地のニーズに応じた海外プロモーションを実施する。

○旅行会社等へのセールス

海外プロモーションにあわせ、現地旅行会社等へのセールスを行い、本県を目的地とする旅行商品の造成を促進する。

(2) 歓迎徳島！外国人誘客促進事業

33,500千円

更なる国際線就航に備え、旅行会社向けに、インバウンド旅客の宿泊費用に対する助成を行う。

担当：観光政策課

観光立県の推進

【令和5年度9月補正予算額 3,500千円】

1. 目的

高付加価値旅行が期待されるスーパーヨットの誘致を推進するため、国や瀬戸内海沿岸自治体と連携するとともに、経済効果や需要等を調査し、誘致活動を実施する。

2. 事業内容

①スーパーヨット誘致推進事業

3,500千円

国や瀬戸内海沿岸自治体と連携するとともに、スーパーヨットの経済効果や需要等を調査し、誘致活動を実施する。

【経済効果・需要等の調査】

○スーパーヨットの寄港による経済効果や需要等の調査

調査費：3,000千円

【誘致活動】

○船舶代理店等への誘致活動

活動費：500千円

担当：運輸政策課

東アジア・東南アジアからの国際線のさらなる誘致推進

【令和5年度9月補正予算額 19,700千円】

1. 目的

航空ネットワークを充実させ、インバウンド誘客や、人流・物流・商流の拡大を図るため、徳島と東アジア、東南アジアを結ぶ国際線の誘致を推進する。

また、運航期間を拡大して就航する秋の台湾チャーター便に対応するため、徳島阿波おどり空港における受入体制の充実を図る。

2. 事業内容

① 国際航空路線誘致推進事業

19,700千円

- 新たな誘致ターゲットとなる「韓国」をはじめとした、さらなる国際線誘致活動の展開
 - ・「韓国」の航空会社等への効果的な企画提案やプロモーションを展開するためのニーズ調査
 - ・国際チャーター便の就航や定期便化に向けたエアポートセールスの拡大
- 徳島阿波おどり空港における国際チャーター便受入体制の充実
 - ・就航時の運航支援や、空港における通訳の配置、おもてなしの実施

担当:次世代交通課

宿泊キャパシティの拡大に向けた戦略策定

【令和5年度9月補正予算額 15,000千円】

1. 目的

宿泊キャパシティの拡大や、宿泊者数・観光消費額の増加に直接つながる宿泊施設の立地に向け、調査・分析・戦略策定を実施することにより、事業者への的確な誘致活動につなげる。

2. 事業内容

⑧ 新 宿泊施設誘致調査事業

15,000千円

(1) 現状把握・ターゲット設定

本県における宿泊需要、既存宿泊施設の状況、立地可能性（土地・環境等）を調査し、想定される顧客層と誘致する宿泊施設のグレード・スペックを設定する。

(2) 事業者の抽出・調査・分析

事業化する可能性と能力のある、あらゆる事業者を抽出した上で、既存の本県支援制度を周知するとともに、各種調査を実施し、結果を分析する。

(3) 誘致戦略策定

誘致活動を実行するための、販促ツール制作や事業者への新たな支援制度等、県が揃えるべき条件の整理・整備を行うための戦略を策定し、誘致活動を行う。

外務省との連携による国際交流の推進

【令和5年度9月補正予算額 12,100千円】

1. 目的

本県の認知度向上を図るとともに、新たな海外とのネットワークを形成し、経済分野を含む本県と海外との交流拡大につなげるため、外務省と連携し、徳島の魅力をグローバルに発信する。

2. 事業内容

⑨ みんな行きたいケン！！外務省連携とくしま魅力海外発信事業

12,100千円

外務省との共催により、駐日外交団をはじめ諸外国・地域のキーパーソンに、徳島が誇る豊かな食材や伝統文化を体感いただくとともに、本県の観光、産業、施策の魅力を発信するイベントを開催する。

【対象】

駐日外交団、在日外国商工会議所、国内外企業等

【開催時期・場所】

令和6年1月又は3月予定、東京都内

【PR内容】

- 県産食材を活用した料理等の提供による「食の魅力」の発信
- 「阿波おどり」をはじめとした伝統文化の紹介
- 本県の観光および産業の魅力や県施策のアピール

担当:ダイバーシティ推進課

賃上げに繋がる経営改善への支援

【令和5年度9月補正予算額 100,000千円】

1. 目的

原油・原材料価格の高騰等が長期化する中、設備投資等の生産性の向上に取り組み、最低賃金の引上げを行う中小・小規模事業者を支援することにより、労働者の所得向上を促進する。

2. 事業内容

⑨ 徳島県賃上げ応援金プラス

100,000千円

事業場内最低賃金引上げのため、中小・小規模事業者が行う設備投資等に要する経費について、国の「業務改善助成金」に県独自の乗せ助成を行う。

また、国の「業務改善助成金」の対象外となる事業所についても、労働者の所得向上に繋げるため、県独自の助成を行う。

○業務改善助成金への乗せ助成

【支給要件】 令和5年4月1日以降に、徳島労働局に「業務改善助成金」の交付申請を行い、令和6年2月28日までに確定通知を受けていること

【補助率】 設備投資等に要した費用の「1/10」
※上限額あり（国の助成上限額の1/10）

○業務改善助成金の対象外事業者への助成

【支給要件】 最低賃金が「1,000円以下」で、地域別最低賃金との差が「31円」以上であること

【補助率】 設備投資等に要した費用の「3/4～9/10」
※上限額あり（賃金引上げ額・人数により変動：300千円～6,000千円）

担当：労働雇用戦略課

生産性向上による事業継続力の強化

【令和5年度9月補正予算額 830,000千円】

1. 目的

資源価格の高止まりや円安の長期化が懸念される中、強靱な経営体質への転換を図る「企業変革力強化投資促進事業費補助金」を増額し、県内事業者の積極果敢な設備投資を支援する。

2. 事業内容

企業変革力強化投資促進事業

830,000千円

経費削減に向けた省エネ設備への更新及び生産性向上に必要な機械設備の導入やECサイト構築による販路拡大など、中小企業の設備投資を支援し、業績の改善・成長を促進する。

【対象者】

県内の中小・小規模事業者

【対象事業】

①コスト削減枠

省エネルギー設備への更新や創エネ・蓄エネ設備の導入によるコスト削減を支援

(例) 高効率の空調設備・給湯器・ボイラへの更新、太陽光発電や蓄電池の新規導入など

②価値創出枠

生産工程自動化（FA）やITツール導入による生産性向上や販路拡大を支援

(例) 新商品開発への機械・設備の導入、POSレジ・オーダーシステムの構築など

【補助率、上限額】

①補助率1/2、上限額50万円 ②補助率2/3、上限額200万円

担当: 商工政策課

効果的な企業誘致活動による立地競争力の強化

【令和5年度9月補正予算額 5,000千円】

1. 目的

立地競争力を強化し、本県への企業立地に繋げるため、立地候補企業へのファーストコンタクトからアプローチまで、一貫した施策の実施により、効果的な企業誘致活動を行う。

2. 事業内容

① 企業誘致促進発信強化事業

5,000千円

○企業の立地意向調査

エリアや業種で対象企業を限定した上で、立地意向調査を行い、誘致候補企業を選定することで、その後の企業誘致活動に繋げる。

○啓発コンテンツの充実

立地環境を紹介するパンフレットをはじめ、企業誘致活動に必要なPRコンテンツを作成し、積極的な企業誘致活動を展開する。

○立地検討企業の現地視察への支援

立地を検討している企業が、「立地候補地」として、徳島県に視察に訪れる際の旅費を助成する。

【補助上限】

5万円/人（1企業2人まで）

担当:企業支援課

農林漁業者の創意工夫による取組への支援

【令和5年度9月補正予算額 200,000千円】

1. 目的

本県農林水産業のポテンシャルを最大限に引き出し、産地の競争力強化につなげるため、生産者等が自ら行う創意工夫による、地域の課題解決や新時代を見据えたチャレンジに対して支援を行う。

2. 事業内容

農山漁村未来創造事業

200,000千円

【企画提案型】

- ・生産者の創意工夫あふれる優れた取組をハード・ソフト両面から支援(補助率1/2、上限20,000千円)
※「重点支援分野(「輸出拡大」「GX」「DX」等の推進に資する事業)」は、上限を25,000千円に引き上げ

【政策推進型】

- ・「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」に沿った取組を支援(補助率3/10、上限10,000千円)
- ⑨「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画」の推進に資する取組を支援(補助率1/2、上限10,000千円)

【農地集積・事業承継加速型】

- ・農地集積・集約を加速化するための支援
- ⑨リタイアする農業者から担い手へ円滑に事業承継するための支援

【緊急対応支援型】

- ・緊急的に対応が必要な災害や家畜伝染病の予防に対する支援

畜産業の経営強化に向けた支援

【令和5年度9月補正予算額 257,000千円】

1. 目的

ウクライナ情勢や円安の長期化に伴う配合飼料価格の高止まりにより、畜産経営が悪化していることから、国産飼料の利用増加によるGXの推進や付加価値の高い品種の導入など、積極的な経営強化等に取り組む畜産農家を緊急的に支援する。

2. 事業内容

畜産経営強化GX推進事業

257,000千円

【対象者】

県内畜産経営者

【要件】

次の(1)から(3)を実践する県内畜産経営者に対して支援する。

(1) 飼料自給率の向上によるGX推進に向けた取組

①国産飼料用米の利用の増加を目指すこと。(主に「豚・鶏」飼育経営体)

②稲発酵粗飼料・稲わら等の国産粗飼料の利用の増加を目指すこと。(「牛」飼育経営体)

(2) 生産性向上に向けた取組(全畜種)

コスト削減や生産性の維持・向上対策に取り組むこと。

(3) 経営力強化に向けた取組(全畜種)

付加価値の高い品種の導入による粗収益の向上等に取り組むこと。

【支援額】

支援単価※ × 配合飼料3ヶ月間(令和5年7月～9月)の購入数量

※ 支援単価:「配合飼料価格安定制度」における畜産経営者負担分をもとに算出

砂地畑農業の振興

【令和5年度9月補正予算額 20,500千円】

1. 目的

砂地畑農業の持続的な発展を図るため、航路の維持浚渫による発生土について、「手入れ砂※」としての活用可能性に関する社会実験を行い、適性を評価する。

※手入れ砂：砂地畑の土壌改善やサツマイモ等の品質改善を図るために客土する砂

2. 事業内容

① 手入れ砂活用社会実験事業

20,500千円

浚渫土の砂地畑への投入及び土壌の粒径の確認など、栽培試験に向けた体制を構築するとともに、浚渫に係る環境への影響等について調査する。

【実施地域・品目】

- ・ 砂地畑農業地域
- ・ サツマイモ等

【実施内容】

- ・ 浚渫土の砂地畑への投入
- ・ 土壌の粒径確認、化学性調査
- ・ 栽培試験の設計
- ・ 環境モニタリングの実施

担当：経営推進課

林業における担い手育成と労働安全対策の加速

【令和5年度9月補正予算額 9,600千円】

1. 目的

来年4月に三好市が開校する「三好林業アカデミー」をはじめ
県内林業関連施設との連携による人材育成と労働安全対策を加速するため、
デジタル技術の研修拠点である「林業人材DXセンター」の機能強化を図る。

2. 事業内容

① 林業人材DXセンター推進事業

9,600千円

○林業技術デジタルコンテンツの作成

高度技術を有する林業従事者の動作や判断ポイントをVR上で可視化した「林業労働安全教材」を作成し、新規就業者等の効率的かつ効果的な「匠の技」の習得を促進する。

○オンラインネットワーク環境の構築

「林業人材DXセンター」を核として、県内林業関連施設を結ぶオンラインネットワーク環境を整備し、「スマート林業技術」や「科学的視点に基づいた安全技術」等をリアルタイムで学び体感できる研修を展開する。

担当：スマート林業課

首都圏等における県産食材の認知度向上・販路拡大

【令和5年度9月補正予算額 8,500千円】

1. 目的

インバウンド需要の回復をはじめ社会経済活動が活性化しているこの機会を逃さず、県産農林水産物の需要拡大を図るため、首都圏の人口密集地域での集中的な魅力発信や、イベントでの露出機会の創出を通じ、県産食材の認知度向上・販路拡大を推進する。

2. 事業内容

⑧ 徳島魅力発信・販路拡大事業

8,500千円

- (1) 県産食材PRイベント等による魅力発信・販路拡大
人口が集中・増加している首都圏私鉄沿線地区において、県産食材のPRイベントを集中的に開催するとともに、継続的な取引の拡大につながる取組を実施する。

【実施予定のイベント等】

- ・ 商業施設の広場空間を活用したマルシェの開催やキッチンカーの出店
- ・ 大手スーパーや百貨店における県産食材の大量陳列やデリコーナー向けの商品開発・提供
- ・ 仕入れ担当者を対象とした県内産地視察や商談会の開催

- (2) 県産食材の露出機会創出による認知度向上
発信力の高い者が出席するイベントに県産食材を提供する。

【想定するイベント】

- ・ 各国の外交団等が参加する交流会
- ・ 県外在住者が参加者の大半を占める商談会や大会等

担当：もうかるブランド推進課

「阿波地美栄」消費拡大プロジェクトの推進

【令和5年度9月補正予算額 5,500千円】

1. 目的

安全で高品質な徳島のジビエ「阿波地美栄」を貴重な資源として地域の活性化に繋げるため、県内外における認知度向上・消費拡大に向けた取組を推進する。

2. 事業内容

「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業

5,500千円

①（1）首都圏における認知度向上

首都圏の健康志向の高い消費者をターゲットに、ヘルシーで美味しい「阿波地美栄」の認知度向上を図るため、県産食材とコラボした「フェア」を東京で開催し、「魅力あふれるジビエ料理の提供」や「徳島県ゆかりの飲食店での利用促進に向けた試食会・商談会」等を実施する。

（2）地産地消の拡大

県内における更なる消費の拡大と定着化を図るため、「阿波地美栄」料理の提供店として県が認定している「うまいよ！ジビエ料理店」等と連携し、料理店への集客に繋げるキャンペーンを実施するとともに、「阿波地美栄」の魅力を発信する「阿波地美栄フェスタ」を開催する。

とくしまワーク体感による県内就職の促進

【令和5年度9月補正予算額 10,000千円】

1. 目的

本県の将来を担う「若者のU I Jターン就職」を促進するため、「徳島で働くこと」や「県内企業」の魅力について、「就職活動開始前から体感」できるイベントの開催等に取り組む。

2. 事業内容

① とくしまワーク体感事業

10,000千円

部局間連携を強化した「個別交流会」や「インターンシップツアー」を実施するとともに、インターンシップ情報の一元化及び効果的な発信等に取り組む。

○企業の若手社員との「個別交流会」の開催

高校生をはじめ早い段階から、「徳島で働くこと」への理解を深め、県内企業を魅力的な就職先として意識し、徳島でのキャリアイメージを具体的に喚起できるよう、学生と年齢の近い若手社員との小規模交流会を複数開催する。

○多様な「インターンシップツアー」の実施

大学生等のキャリアに関する視野を広げ、就職後のミスマッチを防止するとともに、就業体験を通じて、徳島で働くことを具体的に体感できるよう、志望する企業や勤務地が決まっていない段階でも参加しやすい形態で、興味ある「職種・テーマ」を選択できる「インターンシップツアー」を実施する。

担当:労働雇用戦略課

専門学校が県内企業等と連携して行う実践的な職業教育への支援

【令和5年度9月補正予算額 3,850千円】

1. 目的

私立専門学校の魅力ある学校づくりを通じて、徳島を支える若者の県内定着や人材の確保につなげるため、「職業実践専門課程」に認定された専門学校の取組を支援する。

2. 事業内容

① 徳島を支える若者の県内定着促進事業

3,850千円

「職業実践専門課程」に認定された専門学校が、県内企業等と連携して行う、より実践的な職業教育への取組を支援する。

※「職業実践専門課程」…専門学校のうち、特に企業等と連携体制を構築し、実務の最新知識・技術・技能を身につけられるよう、より実践的な職業教育に取り組んでいる学科について、文部科学大臣が認定。

【対象】 「職業実践専門課程」に認定された県内の私立専門学校

【対象事業】

企業等と連携した事業

- ・ 教育課程の編成を行う委員会の開催
- ・ 実習、実技、演習
- ・ 教員の知識、技術を向上させるための組織的な研修
- ・ 企業等の役員等を参画させた学校関係者評価委員会の開催
- ・ 連携した取組を高等学校や生徒等に周知し、専門学校の認知度を高める普及啓発

【補助率】 1 / 2

【上限額】 500千円 / 校 (県内就職率85%以上の場合：10%加算)

担当:総務課

新たな働き方を地域の力に！「関係人口」の創出・拡大

【令和5年度9月補正予算額 14,000千円】

1. 目的

コロナ禍による「テレワークの常態化」、企業を中心とする「副業・兼業の容認」など、価値観が変容し、多様な働き方が推進されるなか、新たに生まれた人の流れを呼び込み、「持続可能な地域づくり」を実現するため、地域と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図る。

2. 事業内容

① アワーケーション魅力創生事業

8,000千円

「アワーケーション」を磨き上げ、新たな魅力の創出と更なるブランド化の推進に取り組む。

- ① 徳島ならではの魅力をつめこみ、国際的リモートワーカーの増加も見据えた、多様なニーズに応えるプランへとブラッシュアップ
- ② いつでも・どこでも、希望に合わせたプランを相談できる仕組みを構築
- ③ 誘致競争に打ち勝ち、将来的に全国から選ばれるプランへと進化するための検証を実施

② 複業人材活用拡充プロジェクト事業

6,000千円

「複業人材（地域貢献の意識が高い都市部人材）」の活用による、地域課題の解決と地域との絆の深化を支援する。

- ① 複業人材と地域住民が、交流と協働を通じて深くつながることで「関係人口」を創出
- ② 複業人材の「スキルやノウハウ」を活用し、地域課題を解決することで、地域の内発的発展を促進
- ③ 複業人材が積み上げてきた活動の成果を発信することで、認知度を拡大し、更なる活躍の場を拡充

担当:とくしまぐらし応援課

徳島・にし阿波「地元回帰・移住交流」の促進

【令和5年度9月補正予算額 2,600千円】

1. 目的

「にし阿波」における「地元回帰・移住交流」を促進するため、地元企業や誘致企業等を対象とした地元回帰・人材確保に向けたセミナーを開催するとともに、移住関係メディア等を現地に招へいし、「にし阿波」の「働く場所」「住む場所」としての魅力を強力に発信することにより、人の流れの創出を図る。

2. 事業内容

① 徳島・にし阿波の魅力発信「地元回帰・移住促進」事業

2,600千円

- ① 地元回帰・人材確保に向けたセミナーの開催
地元企業や誘致企業、特定地域づくり事業協同組合等の代表者・採用担当者を対象に、就職情報関係者を講師に招き、にし阿波地域へのU I Jターン就職の促進等、地元回帰・人材確保につながる講演や意見交換を行う。
- ② 移住関係メディア等との現地交流会
「にし阿波」の「働く場所」「住む場所」としての強みとなる古民家活用のレンタルオフィスやコワーキングスペース、移住お試し住宅、アクティビティ等の現地へメディアを招へいし、地域の魅力を効果的に発信する。

担当：地域創生観光部

「とくしまマラソン」開催支援

【令和5年度9月補正予算額 48,800千円】

1. 目的

徳島ならではのおもてなしにより、本県の魅力を全国に発信するとともに、県民のスポーツ振興、交流人口の増加による地域活性化、にぎわいの創出を図るため、「とくしまマラソン2024」の開催を支援する。

2. 事業内容

(1) とくしまマラソン支援事業

30,000千円

国籍や年齢、走力、障がいの有無などに関わらず、多様なランナーが参加できる「とくしまマラソン2024」の開催を支援する。

- ・定員を「8,000人」とし、海外ランナーエントリー枠を復活

(2) 次代につなぐ! 「とくしまマラソン」魅力アップ事業

18,800千円

とくしまマラソンの「魅力アップ」を図る取組を実施し、本県の魅力発信につなげ、にぎわいを創出する。

- ・小学生以上の幅広い年代層が参加できる「ファンラン」の開催
- ・ステージイベントや、徳島の食のブース設置等「当日イベント」の実施

担当: にぎわいづくり課

サテライトオフィスの誘致・定着支援の強化

【令和5年度9月補正予算額 15,000千円】

1. 目的

首都圏から地方への新たな人流創出と定着促進のため、本県の強みを活かしたサテライトオフィス誘致を行うとともに、進出企業と地域との課題解決に向けた地域連携を支援すること等による、進化した誘致施策を実施することにより、魅力的なまちづくりと雇用創出を推進する。

2. 事業内容

⑨ 「勝ち抜く地域を創出！」サテライトオフィスプロジェクト事業 15,000千円

①ターゲットを絞った誘致活動の展開

新たな地方創生事例の創出に向け、参加市町村主体による課題解決型のマッチングイベントを県外で展開する。

また、開設検討企業に向けたオーダーメイド型サテライトオフィス体験ツアーを実施し、地域関係者との交流を促進することで、開設の確度を高める。

②地域活性化への支援

地域活性化の好事例を全県下に展開するため、地域の課題解決に向けた地域連携を推進する補助制度を創設し、サテライトオフィス企業の開設・整備や地域活動を支援する。

【対象】 : 新規進出、既進出企業の事業拡大に伴うハード整備
: 地域活性化に資するソフト事業

【補助率】 : 1/2 【上限額】 : 最大50万円

③誘致拠点機能への支援

本県ならではのサテライト環境を強化するため、県内各地のコワーキングスペースとの連携をさらに強化する。

担当：とくしまぐらし応援課学び・働き創造室

県広報SNSの発信力強化

【令和5年度9月補正予算額 7,600千円】

1. 目的

若者をはじめ県民に県政への関心・理解をより深めてもらうため、「SNS」を活用した広報を強化し、県民の生活スタイルやニーズに即応した情報発信に取り組む。

2. 事業内容

① 県広報SNS発信力強化事業

7,600千円

- (1) 若者世代に訴求する新たな広報戦略の調査研究
SNSをはじめ広報手法全般について、専門的見地から助言をいただく「広報アドバイザー」を招聘するとともに、SNSやWEB上に発信された情報を収集・分析し、県広報の効果検証を行うことにより、若者ニーズに即応できる「戦略的な広報」に向けた調査研究を行う。
- (2) 「縦型ショート動画」の制作
「徳島新時代」の新たな県政方針や重要施策等について、若年層をターゲットに身近で分かりやすく、訴求力が高い広報テーマを選定し、スマートフォン向け「縦型」かつ、30秒程度の「ショート動画」を制作する。
- (3) 「国内外SNS広告」による発信
国や地域、年齢などのターゲティングが可能な「SNS広告」に「縦型ショート動画」を活用することにより、関連施策を効果的・効率的に発信する。

担当:秘書課

県民目線に立った防災情報発信の充実強化

【令和5年度9月補正予算額 5,400千円】

1. 目的

県民の皆様、「自分の命は自分で守る」防災意識を高め、災害時の適切な避難行動につなげていただくため、気象警報や避難情報などの防災情報について、「SNS活用による発信」の更なる充実強化を図る。

2. 事業内容

①災害情報発信強化事業

5,400千円

DX新時代に相応しい、県民目線に立った防災情報をより一層的確に発信するため、新たに「県公式X（旧ツイッター）」等に、必要な防災情報を「プッシュ型」で即時発信できるよう、システム改修を行う。

【システム改修の概要】

- ・ 県民目線に立った防災情報を即時発信できるよう「県公式X（旧ツイッター）」等と、県の防災基幹システムである「災害時情報共有システム」間のデータ関係を強化するとともに、操作手順の改善を行い、運用コストの低減にもつなげる。

【発信する防災情報】

各SNSの特性を活かした発信手段による、県民ニーズを反映したわかりやすい表現での発信

- ・ 気象庁が発表する「気象警報」
- ・ 市町村が発令する「避難情報」
- ・ 主要道路の「通行規制情報」
- ・ 安全確保など県民への注意喚起 等

担当:とくしまゼロ作戦課

県民一人一人に、しっかり寄り添う福祉行政の推進

【令和5年度9月補正予算額 4,000千円】

1. 目的

複雑化する「生活保護業務」のDX化を図るため、「ケースワーク支援AIシステム」「相談業務FAQデータベース」「生活保護RPAシステム」を導入し、ケースワーカーが、生活に困窮する県民の皆様に寄り添い、しっかりと向き合える時間を確保する。

2. 事業内容

①生活保護業務DX化推進事業

4,000千円

(1) 「ケースワーク支援AIシステム」導入

複雑化する生活保護の相談・適用について、個別事案に応じた根拠法令や過去の対応事例などをAIを活用することで、即座に検索・提示できるシステムの導入を行い、業務を効率化する。

(2) 「相談業務FAQデータベース」構築

県内の全福祉事務所の過去対応事例を、福祉事務所間で双方向・リアルタイムで参照・閲覧できる「FAQデータベース」を構築するとともに、AIシステムとの連動により、業務効率化のさらなる加速化や、適切なケースワークの運用につなげる。

(3) 「生活保護RPAシステム」導入

ケースワーク業務の中でも煩雑となる被保護者の「収入認定作業」について、RPA導入による自動化を図り、正確性を高めるとともに、迅速かつ効率的な業務運営を図る。